

青少年問題を考える地域懇話会

当協会では「青少年育成市町村民会議」の活動を支援するため、地域の青少年問題について、有識者と地域の活動指導者が意見交換等を行う「青少年問題を考える地域懇話会」を開催しています。平成24年度は帯広市、白老町の2箇所、それぞれの青少年育成市町村民会議と共催して開催しました。

両会場では、青少年の健全育成のための課題や解決策について、地域の活動指導者からの発表や有識者の助言を基に、活発な意見交換が行われました。

【帯広市】 テーマ「地域の育成指導者を育てる」

- 提言者 北海学園大学経済学部教授 内田 和浩
- 発表者 帯広市青少年育成者連絡協議会会長 朝日 照夫
帯広市PTA連合会会長 山中 康幸
啓北小地区青少年委員運営協議会元委員長 樋渡 康
- コーディネーター 十勝教育局社会教育指導班主査 金澤 誠一
(敬称略)



●概要

3名の発表者などから、日頃の活動内容として、①育成活動を通じた人間関係づくり、②幼児・児童期の情動的な発達を促す体験活動の実践、③地域テーマを掲げた事業への取り組み、などの発表があり、課題としては、①指導者の後継者不足と確保、②活動団体の資金不足、③地区と他団体との連携強化など、対策としては、①地域毎にどのような指導者がいるか調査する必要がある、②育成指導者の役割を再認識することが重要、などといった意見が出されました。

これに対し、参加者から「今の子どもは、20年前の子どもと本質的には変わっていない。変わったのは大人。大人の生き方、子どもへの接し方に問題はないか」、また「今の子どもや若者は挨拶やコミュニケーションがとれない子が多い。そういう子や親に対し声かけをし、どう地域に引っ張っていかかが今求められている」などの意見が挙げられました。

続いて、提言者から「子どもは純粋無垢の状態生まれ、社会環境や人間関係などでどの色にも染まる。子どもが変わったというのは、大人の言い逃れ。家庭や地域社会がどう変わったのか、その実態を把握することが、今の指導者に求められる役割」と意見があり、さらに、後継者育成のためには、①時代に合った活動を推進すること、②活動を継続していくことが重要、との助言がありました。最後に3名の発表者から青少年健全育成への思い、願いなどが話されました。

【白老町】 テーマ「食育から子どもたちの生活リズムの向上を考える」

●基調講演講師・コーディネーター

演題：「早寝早起き朝ごはん」から始める子どもたちの望ましい生活習慣の定着

胆振教育局社会教育指導班主査 山田 智章 (敬称略)

●概要

基調講演では、子ども達の就寝時刻の実態（3歳以上が10時以降起きる割合50%）や睡眠が必要な科学的根拠、さらに、睡眠不足が子どもの成長に悪影響を与えており、大人の生活ペースに子どもを合わせてしまわないこと。また、年齢の増加とともに子どもは手伝いをしなくなるが、仕事を与えてあげ、自分が仕事をしないと家庭はまわらないと思わせることが大事と述べられ、さらに、子どもたちの成長には3大栄養素（タンパク質、脂質、炭水化物）が必要であり、身体をつくる夕食にはタンパク質を多く取り、エネルギー補給が必要な朝食には、炭水化物を取ることが大切と話されました。



次に、約100名の参加者を4グループに分け、テーマを2つ設定し意見交換を行いました。『地域の子どもたちをどのように育むか』のテーマでは、①あいさつ・声かけは大人が出来ていない、②イベントや会議が同じ顔ぶれ、③子育てについて親の都合に合わせている、などが挙げられ、『各地区での推進事項』のテーマでは、①家庭での会話・あいさつが重要、②地域・家庭・学校の役割分担、③町内会でのイベント等きっかけとなる機会を与える、などが挙げられました。

最後に、コーディネーターから、「今回参加されてる方々は意識の高い方。この情報をその場だけでなく、関心のない方にどう伝えるかが重要。この場限りの話題とせず、町内会の推進事項として取り上げていただきたい」と話されました。